ビデオ・スキャンコンバーター・ユニット

VIDEO SCAN CONVERTER UNIT

取扱説明書

この度は「XPC-3」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。商品を正しくご利用いただくために、まずこの説明書をよくお読みください。

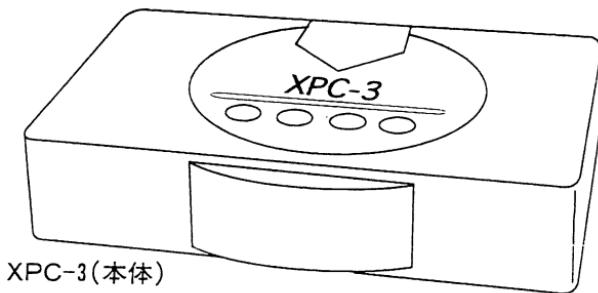
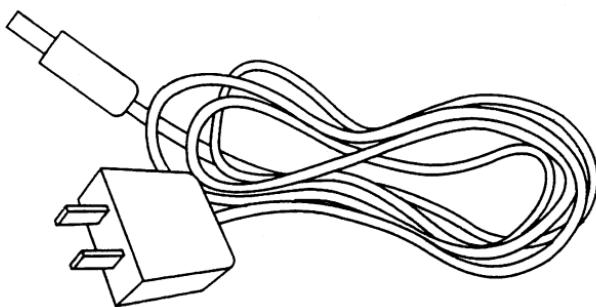
はじめに

XPC-3は、IBM PC/AT互換機(以下DOS/Vパソコンと言います)とNEC PC-98NXシリーズの画面出力を、ご家庭のビデオ端子付きテレビ、S端子付きテレビで見ることができるように変換する装置です。

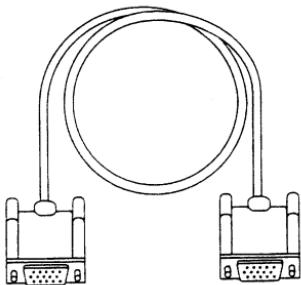
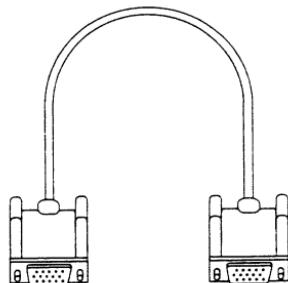
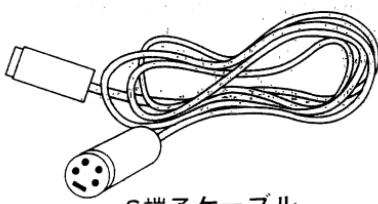
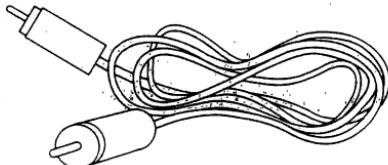
大画面テレビや、プロジェクターに接続して、パソコンを利用したプレゼンテーションなどを行なう際に便利です。

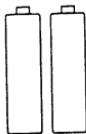
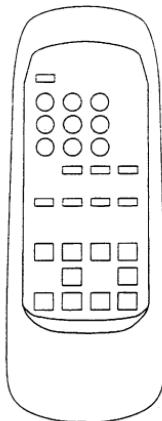
また、XPC-3で変換した映像信号は、家庭用のビデオデッキで録画が可能です。

パッケージ内容

本製品のパッケージには、以下のものが同梱されております。ご確認ください。

XPC-3(本体)

ACアダプター

パッケージ内容

本製品のパッケージには、以下のものが同梱されております。ご確認ください。

15ピン・アナログRGBケーブル（長いケーブル）

15ピン・アナログRGBケーブル（短いケーブル）

S端子ケーブル

ビデオ・ケーブル

取扱説明書（本書）
保証書
ユーザーズ・カード（ハガキ）

乾電池（単4・2個）

リモコン

お手数ですが、ユーザーズ・カードは必要事項をお書きのうえ、ポストに投函してください。後のユーザー・サポート、製品の参考などに利用させていただきます。

目　次

使用上のご注意

XPC-3は精密な電子機器です。取り扱い時には次のことに注意してください。

●使用中に、本機やACアダプターから煙が出たり、変な臭いがする時は、すぐに使用を中止し、「電波新聞社・販売部　ユーザー・サポート係」までご連絡ください。
そのままご使用になりますと火災や感電の原因となりますのでご注意ください。

●電源には、必ず本製品に同梱のACアダプターをご使用ください。市販のACアダプターや、他の製品に付属しているACアダプターを使用すると、製品が故障するだけでなく、火災などの原因になりますのでご注意ください。

●同梱のACアダプターをXPC-3以外の製品に使用しないでください。同梱のACアダプターはXPC-3専用です。同梱のACアダプターをXPC-3以外の製品に使用された場合、ACアダプターや接続した機器が故障したり、火災などの原因となりますのでご注意ください。

●コネクターの接続などの際にコードを引っ張らないでください。

● 長時間、映像を表示し続けると、テレビ画面に映像の焼き付きが起こることがあります。使用しない時はテレビの電源の電源を切る(オフにする)か、XPC-3のACアダプターを取り外し、電源を切ることをお奨めします。
また、XPC-3の映像出力を明るくしすぎると、同じように焼き付きの原因となることがあります。特にプロジェクション・テレビは映像の焼き付きが起こりやすいのでご注意ください。

(次ページもお読みください)

使用上のご注意

●本機を直射日光のあたる場所に置かないでください。

●ぬれた手で、本機やACアダプターを触らないでください。感電する恐れがあります。

●分解、改造は絶対にしないでください。分解、改造後の保証はいたしません。

●本機をディスプレイやテレビの上、AVラックの中など、熱のこもりやすい場所に設置して使用しないでください。

●本機を長時間使用しない時は、ACアダプターをコンセントから抜いてください。

●本機を長時間使用すると、本体及びACアダプターが高温になることがあります。お手を振れる際には十分ご注意ください。

●どうしても本機が正常に動作しなかったり、操作がよく分からない時は、まず当社にご連絡ください。本製品が不良品であったとしても、お客様が当社以外の業者(第三者)などに対して勝手に「製品の調査」や「修理」などを依頼されて費用を請求された場合、当社はその費用を支払うことができません。トラブルを防ぐためにも、本機が正常に動かなかったり、操作がよく分からない時は、まず当社にご連絡いただき担当者の指示に従ってください。

●本製品は精密機器です。高温多湿、衝撃を加えるなどの極端な条件下でのご使用はおやめください。

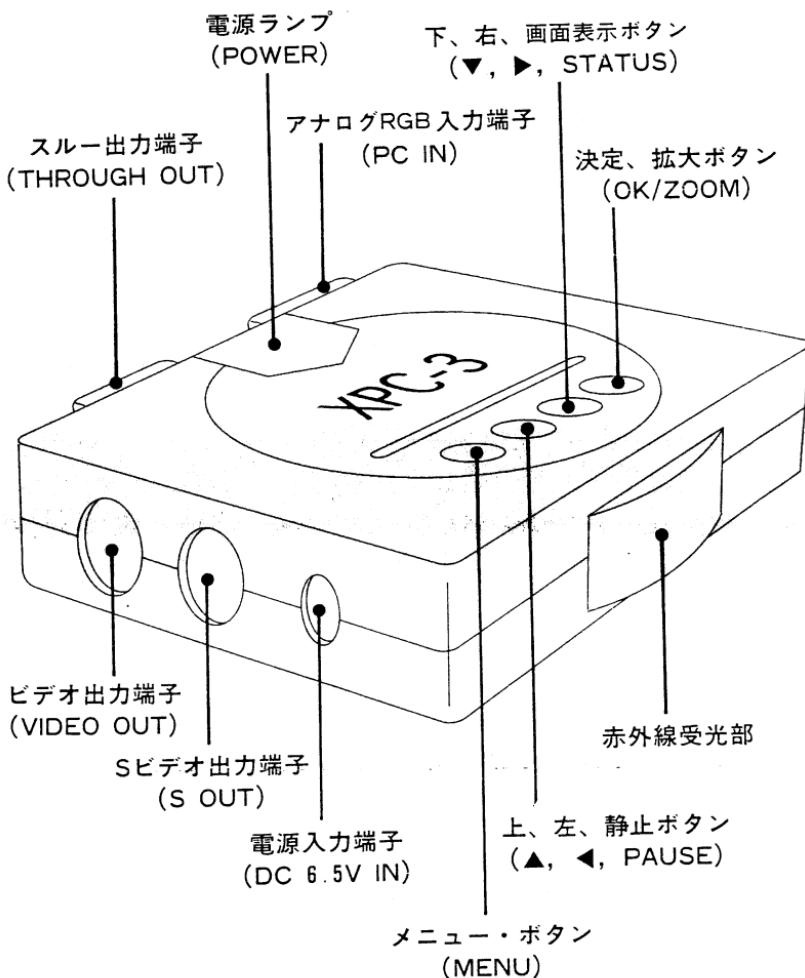
●接続する端子を間違えると、本製品や接続した機器が故障することがあります。接続の際は本書をお読みいただき、正しく接続してください。

(次ページもお読みください)

使用上のご注意

- この製品を、日本国以外の国(国外)では使用しないでください。国外で使用した際の事故、故障、損害に関しましては、保証できません。
- 寒い屋外から暖房されている部屋に持ち込むと、急激な温度変化により、使用している部品の表面に水滴がつくことがあります。水滴がついたままご使用になりますと、故障、感電、火災の原因となります。
- この取扱説明書の指示に従わずに起きた、いかなる事故、損害にも当社は一切責任を負いません。

外観・各部の名称

電源ランプ
(POWER)
下、右、画面表示ボタン
(▼, ▶, STATUS)
アナログRGB入力端子
(PC IN)
スルー出力端子
(THROUGH OUT)
決定、拡大ボタン
(OK/ZOOM)
XPC-3
ビデオ出力端子
(VIDEO OUT)
赤外線受光部
Sビデオ出力端子
(S OUT)
上、左、静止ボタン
(▲, ◀, PAUSE)
電源入力端子
(DC 6.5V IN)
メニュー・ボタン
(MENU)

各端子の機能

●入力

アナログRGB入力端子(PC IN)

アナログRGB入力端子に接続できるのは図1の端子(15ピン・アナログRGB端子)を持つ、各社DOS/VパソコンとNEC社のPC-98NXシリーズです。

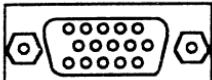



図1 15ピン・アナログRGB端子(15ピン3段・HD-sub)

●出力

XPC-3は、スルー出力、Sビデオ出力、ビデオ出力の合計3種類の出力を持っています。これらは同時に出力されていますので、別々のディスプレイやテレビで同じ映像を見ることができます。

スルー出力端子(THROUGH OUT)

この端子に接続できるのは、それぞれのパソコンに対応した15ピン・アナログRGB端子を持つディスプレイです。XPC-3のアナログRGB入力端子から入力された映像信号をそのまま出力します。

Sビデオ出力端子、ビデオ出力端子(S OUT,VIDEO OUT)

同梱のS端子ケーブルやビデオ・ケーブルを使用し、テレビやビデオデッキなどのSビデオ入力端子(図2の端子)やビデオ入力端子(図3の端子)に接続します。

※テレビ側にSビデオ入力端子とビデオ入力端子の二種類の端子がある場合は、Sビデオ入力端子に接続した方が鮮明な映像が得られます。

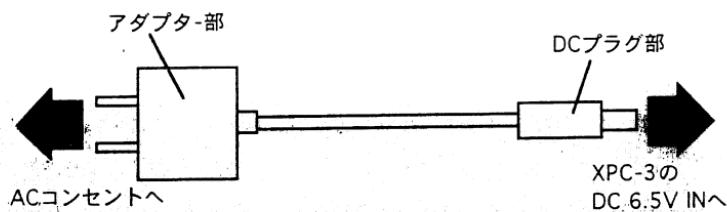
図2 Sビデオ端子

図3 ビデオ端子

●電源(DC 6.5V IN)

すべてのケーブルを接続した後、付属のACアダプターのDCプラグをXPC-3本体の電源入力に接続し、アダプター側を、ご家庭のACコンセント(100V)に差し込んでください。

XPC-3には電源スイッチはありません。ACアダプターを接続するとすぐに電源が入ります。

図4

ボタンのはたらき

メニュー・ボタン（MENU）

スクリーン・メニューOFF時：

スクリーン・メニューを表示します。

スクリーン・メニューON時：

設定した内容を記憶して、スクリーン・メニューを終了します。サブ・メニュー使用時は、メイン・メニューに戻ることができます。

調整画面時：

調整画面で変更された設定内容を決定して、メニュー表示に戻ることができます。

上、左、静止ボタン(▲, ◀, PAUSE)

スクリーン・メニューOFF時：

画面を静止（ポーズ）させます。

ポーズ機能の詳細については、P14をご覧ください。

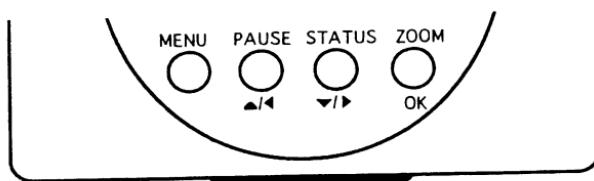
スクリーン・メニューON時：

スクリーン・メニューに表示された項目を選択します。

カーソルを上方向に移動させることができます。

調整画面時：

設定項目を調整できます。

図5：XPC-3のボタン

下、右、画面表示ボタン(▼, ▶, STATUS)

スクリーン・メニューOFF時：

現在の状態(画面モードなどの情報)を、テレビ画面に表示します。

スクリーン・メニューON時：

スクリーン・メニューに表示された項目を選択します。

カーソルを下方向に移動させることができます。

調整画面時：

設定項目を調整できます。

決定、拡大ボタン(OK, ZOOM)

スクリーン・メニューOFF時：

画面を拡大表示することができます。

もう一度押すと、拡大表示を終了することができます。

ポーズ機能の詳細については、P14をご覧ください。

スクリーン・メニューON時：

選択された項目を決定し、調整画面に入ることが出来ます。

調整画面時：

調整画面で変更された設定内容を決定して、メニュー表示に戻ることができます。

特殊なボタン操作

「OK/ZOOM」ボタンを押しながらXPC-3の電源を入れるとスクリーン・メニューで設定された内容をすべて初期化し、工場出荷時の状態に戻すことができます。

画面を静止させるポーズ機能について

XPC-3には、画面を静止させるためのポーズ機能が付いています。

ポーズ機能は、スクリーン・メニューが表示されていない時にXPC-3の「静止(PAUSE)」ボタン、またはリモコンの「ポーズ」ボタンを押すことで使用することができます。画面を静止させたい時に使用すると良いでしょう。

ただし、この機能は、スクリーン・メニュー表示中は使用できません。また、画面を静止している時に、他のボタンを操作すると、静止が解除されてしまいます。

※ポーズ機能を使用すると、動画やゲーム画面などの動きのある画面が著しくちらつくことがあります。これは本製品の仕様であり、改善する事はできません。

画面を拡大表示するズーム機能について

XPC-3には、画面を拡大表示するためのズーム機能が付いています。

この機能を使用することで、文字やアイコンなどを大きく拡大して表示することができます。

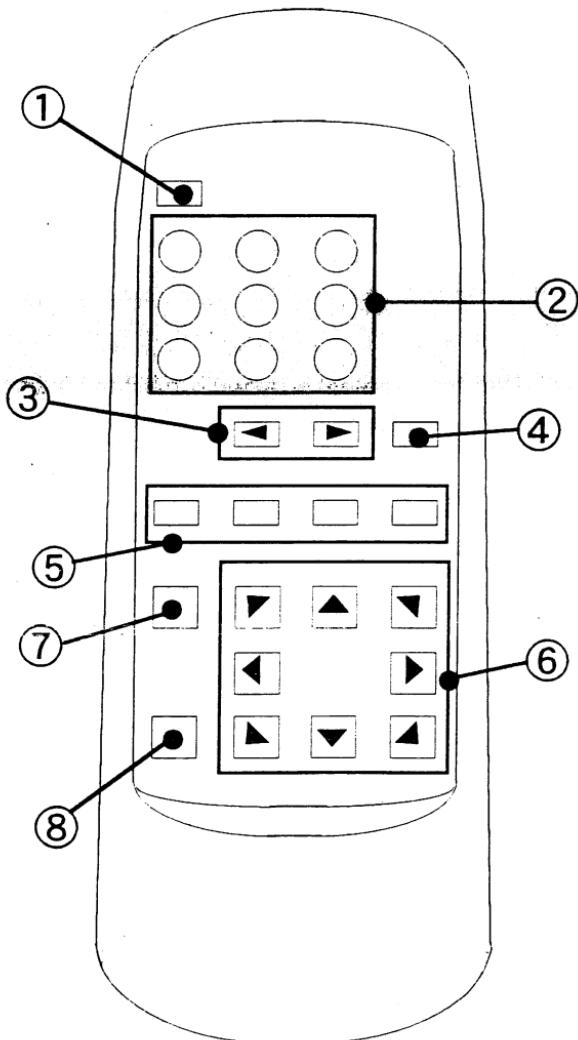
拡大する時は、XPC-3の「ZOOM」ボタンを押すか、リモコンの「ズーム」ボタンを押してください。もう一度同じ操作をすると、ズーム表示から、通常に表示に戻ります。
(リモコンのエリアズーム・ボタンでも拡大できます)

ズーム機能使用時の制限

- 画面をポーズ(静止)したまま、拡大表示するとポーズ機能が解除されます。
- 拡大表示している時にポーズして拡大表示を終了すると、ポーズ機能が解除されます。
- 拡大表示すると、画面比率が縦長になります。

リモコンの機能と各部名称

本製品に同梱されているリモコンを使用すると、XPC-3を離れた場所から操作できるだけでなく、それぞれの機能をより手軽に利用できます。

図6

①画面表示ボタン

XPC-3に入力されている映像信号の情報を表示します。

画面モード、水平同期周波数、垂直同期周波数(リフレッシュレート)が表示されます。

(この数値は近似値ですので、目安としてご覧ください)

※スクリーン・メニュー表示中は使用できません。

②エリアズーム・ボタン

このボタンを押すことで、それぞれに割り当てられた場所を拡大表示することができます。

9つのボタンは、それぞれの画面の位置に対応しています。例えば、左上のボタンを押すと、パソコン画面の左上を拡大表示します。

③明るさボタン

画面の明るさを調整できます。

④ポーズ・ボタン

画面をポーズ（静止）させることができます。

もう一度押すと、静止を解除することができます。

ポーズ機能の詳細についてはP14をご覧ください。

⑤メニュー操作ボタン

これら4つのボタンは、スクリーン・メニューを操作する際、XPC-3本体に付いている4つのボタンと同じ操作ができます。

「メニュー」ボタンはスクリーン・メニューの表示と表示終了、▲/◀、▼/▶、ボタンは各項目の選択や操作、「OK」ボタンは設定内容の決定をする機能を持ちます。

⑥表示位置調整ボタン

画面を矢印の方向に移動させることができます。
ズーム機能使用時はスクリーン・メニューの「H_PAN」,「V_PAN」の機能として動作します。
ズーム機を使用していない時はスクリーン・メニューの「H_POS」,「V_POS」の機能として動作します。
※ここで調整された表示位置は電源オフ時に記憶されません。

⑦ホーム・ボタン

このボタンを押すと、ズーム機能使用時の表示位置を、電源を入れた時の状態(「CENTER_GET」の表示位置)に戻すことができます。
※この機能は、ズーム機能使用時のみ使うことができます。

⑧ズーム・ボタン

このボタンを押すと、ズーム機能(画面を拡大表示する機能)を使用することができます。
もう一度押すと、ズーム表示を終了することができます。
ズーム機能の詳細についてはP14をご覧ください。

リモコンに乾電池を挿入する

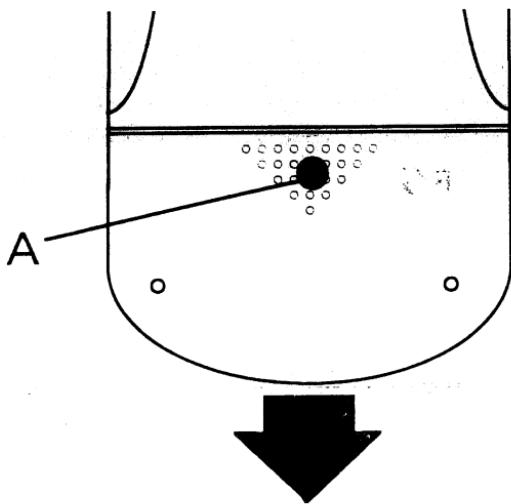
XPC-3に同梱のリモコンは、ご購入時に乾電池が挿入されていないため、そのままではご使用になれません。

このため、XPC-3に同梱の乾電池(単4)をリモコンに挿入する必用があります。

乾電池は、以下の方法を参考にしてリモコンに挿入してください。

1,乾電池挿入部のカバー(ふた)を取り外す

リモコン背面下部の「A」の部分を親指で押しながら、矢印の方向にカバーを引きます。

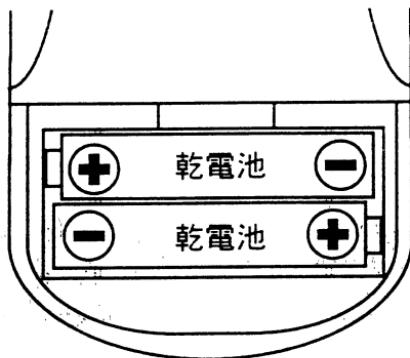
図7

乾電池挿入時の注意事項

- ニッカドなどの充電池(二次電池)は、危険ですからご使用にならないでください。
- 乾電池の極性(+, −)は正しく挿入してください。極性を間違えるとたいへん危険です。
- 電池交換などの際に新旧の乾電池を混在しないでください。

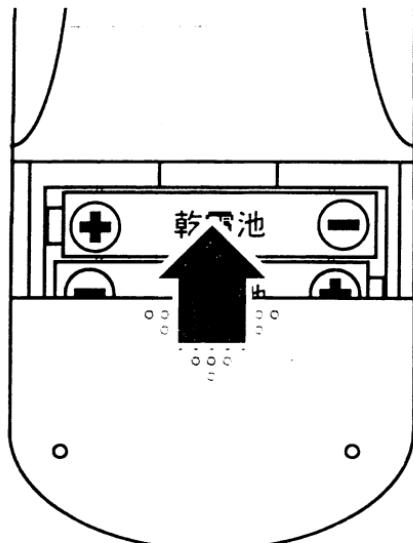
2,乾電池を挿入する

XPC-3に同梱されている乾電池(2本)を、リモコンの電池ボックスに正しく挿入します。

リモコンの乾電池挿入部には極性（+，－）が刻印されていますので、乾電池の極性と合わせて挿入します。(乾電池の極性を間違えると危険ですのでご注意ください)

図8

3,乾電池挿入部のカバーを取り付ける

乾電池が正しく挿入できたら、「1」で外したカバーを取り付けます。

図9

リモコンの操作上の制限

●リモコンの操作には、以下のような制限があります。

・XPC-3とリモコンの距離が3メートル以上離れると正常に動作しないことがあります。

・リモコンの赤外線受光部を中心として、上下左右30°以上の角度から操作した際、正常に動作しないことがあります。

・直射日光の当たるところでは正常に動作しないことがあります。

図10

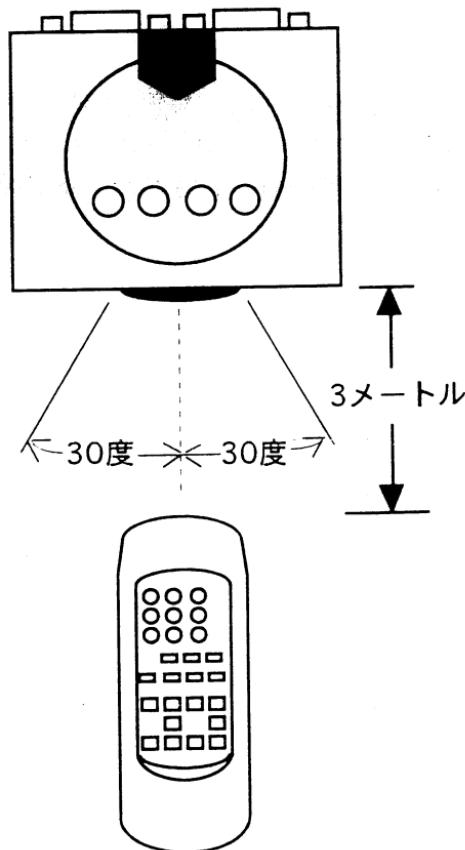
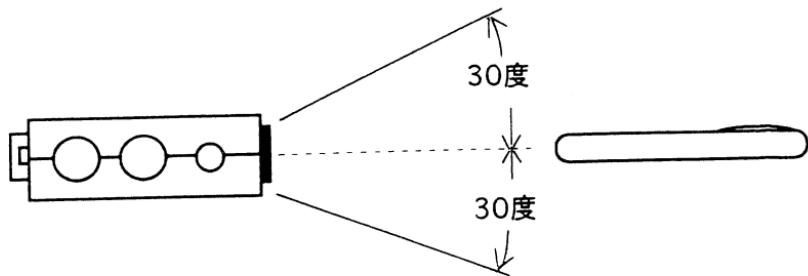



図11

リモコン使用時の注意事項

- リモコンは精密機器です。落としたり衝撃を加えたりすると、故障や破損する恐れがあります。
- リモコンを濡らしたり、濡れた手で触らないで下さい。ショートや感電の原因となります。
- リモコンを長期間使用していて、ボタンを押しても反応が無くなるなど、動作が不安定になった時は、乾電池を新しい物と交換してみて下さい。

パソコンとの接続

■接続する前に

● XPC-3には表1のパソコンを接続できます。

● XPC-3に電源スイッチはありません。ACアダプターをACコンセント(100V)に接続すると、電源が入ります。ACアダプターは、すべての機器の接続が終わってから接続してください。

●表1の対応機種であっても、15ピン・アナログRGB出力端子(図13)を持たないパソコンには接続できません。

表1：XPC-3に接続できるパソコン

メーカー	対応機種
各社	DOS/Vパソコン(AT互換機)
NEC	PC-98NXシリーズ

図12

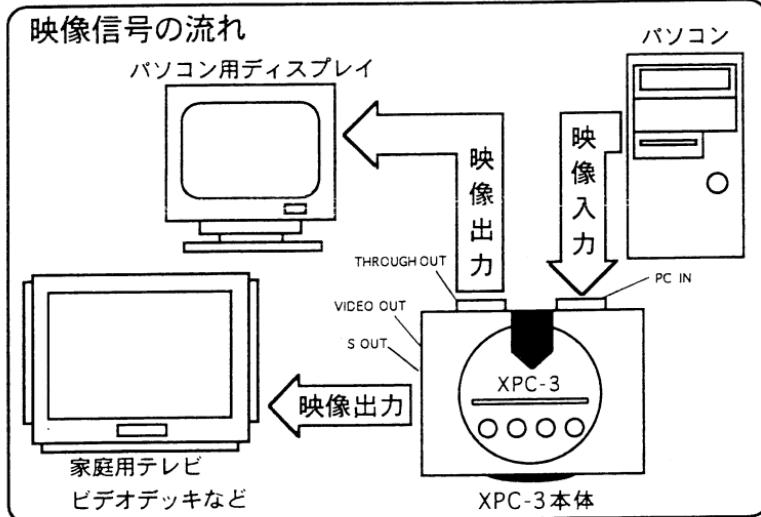
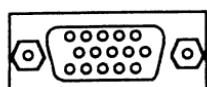



図13

15ピン・アナログRGB出力端子
(15ピン3段，HD-sub)

●パソコンとの接続ケーブルについて

本製品には、15ピン・アナログRGBケーブルが2本(長いケーブル1本、短いケーブル1本)同梱されております。

これらのケーブルは長さが異なるだけで、仕様はどちらも同じです。ノート・パソコンなどでは短いケーブルの方が邪魔にならないため使いやすく、デスクトップ・パソコンでは長いケーブルの方が使いやすい傾向があります。用途に合わせて、お客様が使いやすいと思われる長さのケーブルをご使用ください。

次ページから紹介されている接続方法の、図中に書かれている15ピン・アナログRGBケーブルは、長・短どちらのケーブルを使用されても問題ありません。

●パソコンの対応画面

XPC-3は、パソコンに接続した際、以下の画面モードと同期周波数に対応できます。

画面モード	水平同期(垂直同期)
640×400ドット	31kHz(70Hz)
640×480ドット	31kHz(60Hz)
	38kHz(72Hz)
800×600ドット	35kHz(56Hz)
	38kHz(60Hz)
	48kHz(72Hz)
1024×768ドット	48kHz(60Hz)

※垂直同期とは、リフレッシュレートのことです。

※インターレース方式の画面モードには対応できません。

■デスクトップ型との接続方法

デスクトップ型のパソコンは以下のように接続します。

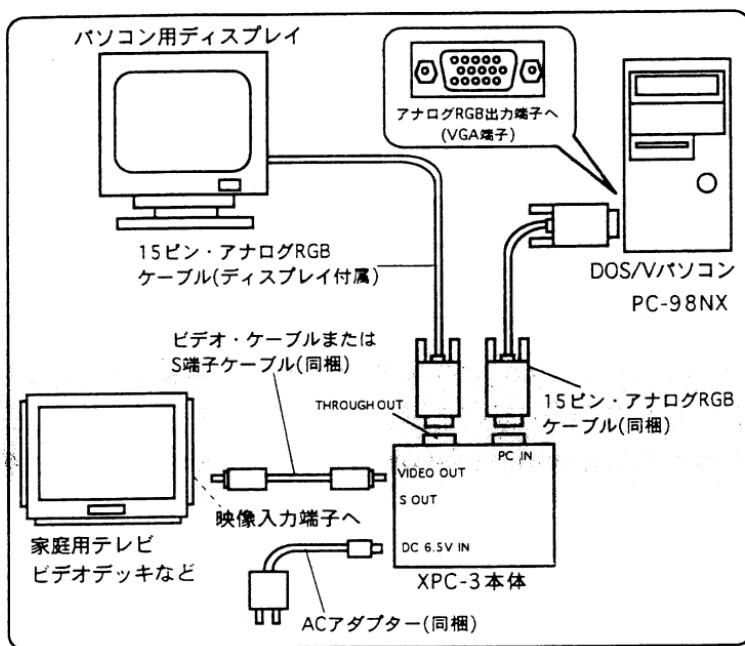
図14

●接続できないデスクトップ型のPC-98NXについて

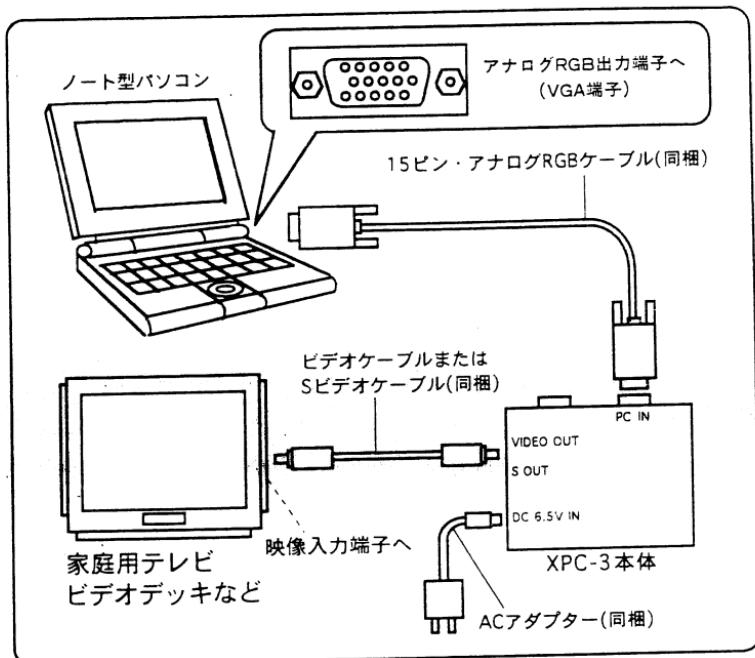
図13(P22)の15ピン・アナログRGB出力端子を持たない機種には接続できません。

以下の機種には、図13の端子が無いため接続できません。

NEC PC-98FineNXシリーズ(FN23C, FN20C)

■ノート型パソコンとの接続方法

ノート型のパソコンは以下のように接続します。

図15

●小型のDOS/Vノートパソコンについて

携帯を重視した小型のノートパソコンの中には、ポート・バーなどのアダプターを接続しなければ、アナログRGB映像を出力できないことがあります。映像を出力するためのアダプターは、パソコンに付属のもの(またはパソコン・メーカーから発売されているもの)をご使用ください。

(次ページもお読みください)

●ノート型のNEC PC-98NXとの接続について

NEC PC-98NXのノート型で、ポート・バーやポート・ベースが必用な機種は、パソコンに付属(またはパソコン・メーカーから発売されている)のポート・バーまたはポートベースを使用してください。

●NEC PC-98NX LB,VA20Cとの接続について

NEC PC-98NX LBやVA20Cは、アナログRGB出力端子が特殊な形状をしているので、別売のNEC製「マウスディスプレイ・ケーブル(NEC PC-VP-BK01)」が必用です。

ノート型パソコンで、映像が表示されない時

ノート型のDOS/Vパソコンの多くは、接続しただけでは映像を表示できません。これは、ノートパソコン側が映像を出力していないためです。

これらの機種では「液晶」に画面を表示するか、「外部のディスプレイ(ここではXPC-3のこと)」に画面を表示するかの切り替えが必要です。

画面の切り替え方法は「パソコン側のキーボードの複数のキーを同時に押す」、「パソコンの起動時にケーブルがつながっているかどうか自動で認識する」、「Windowsのコントロールパネルの[画面]で設定する」など、パソコンの機種によって異なります。映像の出力方法についてはパソコンの取扱説明書をご覧ください。

また、これらの設定を行なっても映像が表示されない場合は、なんらかのトラブルが発生している可能性もありますので、当社にお問い合わせください。

XPC-3の電源をオンにする

すべての接続が終了したら、パソコンの電源をオン(入)にした後XPC-3にACアダプターを接続し、XPC-3の電源をオン(入)にしてください。

XPC-3には、電源スイッチがありませんのでACアダプターを接続し、電源が供給されれば自動的に電源が入ります。

XPC-3の電源がオンになると、XPC-3本体の電源ランプ(POWER)が赤く点灯し、家庭用テレビにパソコンの映像が表示されます。

もし、パソコンの電源がオフ(切)になっていたり、パソコン側が正しく映像を出力していない時は、テレビ画面には何も表示されません(スクリーン・メニューも表示されません)。

※家庭用テレビのチャンネル設定は「外部入力」にしてください。

パソコン用ディスプレイへの画面出力について

XPC-3では、THROUGH OUT端子にパソコン用ディスプレイを接続し、パソコン用ディスプレイにも映像を表示(スルー出力)できます。

しかし、XPC-3本体に電源が供給されていないと、パソコン用ディスプレイに映像を表示することができません。

もし、パソコン専用ディスプレイに映像が表示されない時は、XPC-3の電源がオンになっているか、もう一度確認して下さい。

スクリーン・メニューによる画面の調整

テレビにパソコン画面を表示できたら、明るさや表示位置などを調整します。

画面の調整はすべて、スクリーン・メニューから行なうことができます。

スクリーン・メニューを操作することで、テレビに表示された時の画面の明るさや、表示位置をはじめ、様々な機能を調整・変更できます。

スクリーン・メニュー一覧

メイン・メニュー	ズーム・メニュー	サブ・メニュー
BRIGHT	BRIGHT	VGA_VIEW
H_POS	H_PAN	CENTER_GET※1
V_POS	V_PAN	FLICKER
SUB_MENU	SUB_MENU	THROUGH
		OSD_COLOR
		RESET

※1 ズーム機能使用時のみ表示されます。

スクリーン・メニューには、通常時の「メイン・メニュー」、画面を拡大した時に使用できる「ズーム・メニュー」、特殊な設定ができる「サブ・メニュー」の3つがあります。

スクリーン・メニューで設定された内容は、XPC-3の内部メモリーに記憶されますので、次回から設定を行なう必要はありません。(ズーム・メニューのH_PAN,V_PANを除く)
各機能の選択や設定はXPC-3本体の4つのボタン、またはリモコンで行ないます。

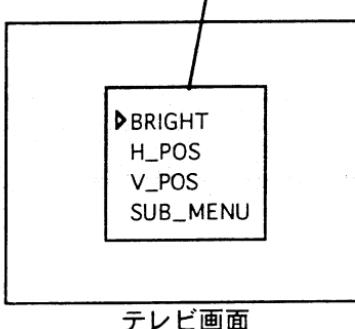
スクリーン・メニューの操作方法

●スクリーン・メニューを表示する

XPC-3のメニュー・ボタン(MENU)を押すことで、テレビ画面にスクリーン・メニュー(図16)を表示することができます。

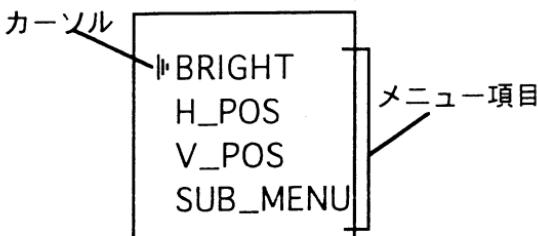
もう一度「MENU」ボタンを押すと、スクリーン・メニューを終了することができます。

※リモコンでも同様のボタンで操作できます。

図16

●項目の選択方法について

スクリーン・メニューには、いくつかの項目があり、「▲」ボタンや「▼」ボタンでカーソルを操作し、メニュー項目を選択することができます。

※リモコンでも同様のボタンで操作できます。

図17

●各項目の調整方法について

カーソルを選択したい項目に合わせ、決定ボタン(「OK」ボタン)を押すと、調整画面(図18)を表示することができます。

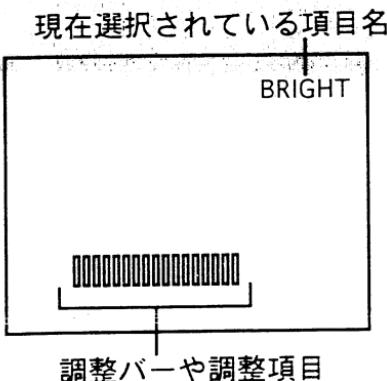
調整画面では、調整内容や設定を変更できます。

調整する際は、「◀」ボタンと「▶」ボタンを使用します。

例えば選択されている項目が「BRIGHT」の時、「◀」ボタンで画面を暗く、「▶」ボタンで画面を明るくできます。

調整が終了したら「OK」ボタン、または「MENU」ボタンを押し、メニュー表示に戻ります。

※リモコンでも同様のボタンで操作できます。

図18

●設定内容の記憶について

スクリーン・メニューで変更された設定内容は、「MENU」ボタンを押してスクリーン・メニューを終了する際に、XPC-3の内部メモリーに記憶されます。

※スクリーン・メニューが表示されている時にXPC-3の電源が切られると、設定内容は記憶できません。

※ズーム・メニューの「H_PAN」、「V_PAN」の設定は記憶できません。

スクリーン・メニューの機能

●メイン・メニュー

BRIGHT（明るさ）

テレビ画面に表示された映像の明るさを調整できます。

最適な明るさに調整してください。

H_POS（水平表示位置）

テレビ画面に表示された映像の、横方向の表示位置を調整できます。

V_POS（垂直表示位置）

テレビ画面に表示された映像の、縦方向の表示位置を調整できます。

SUB_MENU（サブ・メニュー）

OKボタンを押すことで、「SUB_MENU」を表示することができます。

サブ・メニューでは，特殊な機能を設定できます。

サブ・メニューについてはP34～をご覧ください。

●ズーム・メニュー

ズーム・メニューは、画面を拡大表示させた時に使用できるメニューです。

BRIGHT(明るさ)

メイン・メニューの明るさ調整と同じ機能です。

H_PAN(拡大時水平表示位置)

テレビ画面に拡大表示された映像の、横方向の表示位置を調整できます。

ここで設定された表示位置は記憶できません。電源が切られると、CENTER_GETで設定した値に初期化されます。

V_PAN(拡大時垂直表示位置)

拡大時にテレビ画面に表示された映像の、縦方向の表示位置を調整できます。

ここで設定された表示位置は記憶できません。電源が切られるとCENTER_GETで設定した値に初期化されます。

SUB_MENU(サブ・メニュー)

OKボタンを押すことで、「SUB_MENU」を表示することができます。

サブ・メニューでは, 特殊な機能を設定できます。

サブ・メニューについてはP34～をご覧ください。

●サブ・メニュー

サブ・メニューは、メイン・メニューや、ズーム・メニューから「SUB_MENU」を選択することで、使用できます。

サブ・メニューでは、特殊な設定を行なうことができます。

サブ・メニュー表示中にMENUボタンを押せば、メイン・メニューに戻ることができます。

VGA_VIEW(VGA表示方式)

通常は「UNDER」です。

この機能が「OVER」の時は、テレビに表示されたパソコンの画面がテレビ画面から若干はみ出した状態で表示されます(このような表示方式をオーバースキャン表示と言います)。通常の表示に比べ、画面を大きく表示できますので、レースゲームなどで、迫力のある映像を得たい時にご利用ください。ただし、この機能はパソコン画面が640×480ドット(VGA)時のみ使用できます。800×600ドットや1024×768ドットの時はご使用になれません。また、640×480ドットの画面でも、ズーム時(拡大時)は使用できません。

CENTER_GET(ズーム位置記憶)

この機能は、電源を入れた時点での、ズーム機能(画面拡大)使用時の初期表示位置を設定する機能です。

通常、H_PANとV_PANで設定された表示位置はXPC-3の電源を切ると消えてしまうため、記憶できませんが、この機能を使用すれば、次に電源を入れた時の、H_PANとV_PANの初期表示位置を設定することができます。

次回も同じ位置で画面を拡大表示したい時に便利です。

この機能は画面のズーム時(拡大表示時)のみ使用できます。位置を記憶させたい時は、「OK」を選択して、OKボタンを押して下さい。

FLICKER(フリッカー・フィルター選択)

通常は「TYPE2」です。

フリッカー・フィルターとは、画面のちらつきを補正する機能です。「TYPE1」と「TYPE2」では、若干画面の鮮明度が異なります。最適と思われる方を選択してください。

また設定が「OFF」の時は、画面が大変ちらつき、見づらくなりますが、ビデオプリンターなどで画面を印刷する時に鮮明な映像を得ることができます。

ビデオプリンターを接続されるお客様は、一度「OFF」の設定でご使用になってみてください。この機能は、画面のズーム(拡大表示)時は使用できません。

THROUGH(スルー出力設定)

通常は「AUTO」です。

ごく稀に、THROUGH OUT 端子にディスプレイが繋がっているかどうか、XPC-3が認識できないことがあります。

この様な時は、画面を家庭用テレビに表示した際、「画面が異常に明るい」「画面が異常に暗い」などの症状が発生します。

この症状は、接続するパソコンの機種によって、発生したりしなかったりします。

もし、この様な症状が発生した時は、これらの設定を変更してみてください。

「CRT」はTHROUGH OUT端子にディスプレイが繋がっていることを、手動でXPC-3に知らせることができます。「CRT_NONE」はTHROUGH OUT端子にディスプレイが繋がっていないことを、手動でXPC-3に知らせることができます。

OSD_COLOR(OSD色選択)

スクリーン・メニューなど、テレビ画面に表示される文字の色を変更することができます。8つの中から、お好みの色を選んでください。

RESET(リセット)

スクリーン・メニューで変更された全ての設定内容を、工場出荷時の設定に初期化します。

初期化したい時は、調整画面で「YES」を選択してOKボタン、またはMENUボタンを押して下さい。

仕様

入力	15ピン・アナログRGB(HD-SUB) 水平同期周波数31kHz〜48kHz(自動選択) RGB信号0.7Vp-p(75Ω) 同期信号TTLレベル (負極性V:56Hz〜72Hz、H:31kHz〜48kHz) ※1 1024×768ドット時はV:60Hzまで
出力	出力方式 NTSCカラー
	ビデオ(NTSC準拠) 1Vp-p(75Ω)
	S端子(NTSC準拠) 4ピンmini DIN Y信号 1Vp-p C信号バースト信号部で0.286Vp-p(75Ω)
	スルー出力 同期信号TTLレベル (負極性V:56Hz〜72Hz ※1, H:31kHz〜48kHz)
画質	色階調＝YUV4:2:2方式
電源	DC 6.5V 1A
本体寸法	W106mm×D85mm×H25mm(コネクター，凸部含む)
重量	本体140g ACアダプター100g

表2：XPC-3仕様

1	R
2	G
3	B
13	H Sync
14	V Sync
4, 9, 11, 12, 15	Through
5, 6, 7, 8, 10	GND

表3：15ピン入出力信号
(DOS/V用・3段端子)

トラブルの対処法

製品には万全を期しておりますが、万一トラブルがございましたら、次のチェックをしてください。

画面が出ない

●接続は正しいですか？
●XPC-3の電源ランプは点灯していますか？
●テレビの電源は入っていますか？
●テレビやビデオデッキのチャンネル設定は正しいですか?
●パソコンとXPC-3の接続には、本製品に付属の15ピン・アナログRGBケーブルを使用していますか？

ノート型のパソコンで画面が表示されない

●ノート型のパソコンの多くは、接続しただけでは映像を表示できません。これは、ノートパソコン側が映像を出力していないためです。
これらの機種では「液晶」に画面を表示するか、「外部のディスプレイ（ここではXPC-3のこと）」に画面を表示するかの切り替えが必要です。
画面の切り替え方法は「パソコン側のキーボードの複数のキーを同時に押す」、「パソコンの起動時にケーブルがつながっているかどうか自動で認識する」、「Windowsのコントロールパネルの[画面]で設定する」など、パソコンの機種によって異なります。映像の出力方法についてはパソコンの取扱説明書をご覧ください。

テレビ画面が波うつように揺れる

●パソコン用ディスプレイとテレビが近づきすぎていませんか？

画面が乱れる

●対応機種以外のパソコンを接続していませんか？

●パソコン側の画面モードは対応していますか？

水平同期周波数15kHzの画面モードや、1152×864ドットや1280×1024ドット以上の画面モードには対応しておりません。

●ビデオ出力機能（ビデオ出力端子）を持ったパソコンやビデオカードに接続していませんか？

ビデオ出力機能を持ったパソコンやビデオカードに接続すると、XPC-3で変換した映像が乱れて、正しく表示できないことがあります。ビデオ出力機能を持ったパソコンやビデオカードに接続する際は、パソコン側のビデオ出力機能を「機能しない状態」に設定してご使用ください。設定方法は、パソコンやビデオカードの取扱説明書をご覧ください。

文字がつぶれて読めない

●鮮明なテレビに接続しても、パソコン側が800×600ドットや1024×768ドットの画面モードの時、文字などが読みづらくなります。

●より鮮明な画像で見るためにはテレビのS端子に接続することをおすすめします。

●プロジェクターやプロジェクションテレビ、鮮明度の低いテレビなどでは、パソコン側の画面モードが低い解像度でも文字などが著しく読みづらくなります。

テレビ画面に縦縞が出る

●画面に縦縞(モアレ)が発生することがありますが、これはXPC-3の仕様です。この症状を改善することはできません。

スルー出力端子に接続したディスプレイに映像が出ない、または画面が極端に明るくなる

●スルー出力端子にディスプレイを接続する際は、必ずディスプレイに付属の(またはディスプレイ・メーカーが販売している)ケーブルを使用してください。違うメーカーのケーブルを使用すると、画面を正しく表示できないことがあります。

●パソコンからの映像はPC INに入力されていますか？
パソコンからの映像を間違って、THROUGH OUT端子に接続したり、パソコン専用ディスプレイをPC INに接続した場合は、接続が逆になりますので、画面を正しく表示できません。
パソコンからの映像は、必ず「PC IN」に入力し、パソコン専用ディスプレイは「THROUGH OUT」端子に接続してください。

●ごく希に、正しく接続されていても、画面が明るすぎて正しく表示できないことがあります。この様な時は、スクリーン・メニュー(サブ・メニュー)の「THROUGH」の設定を「CRT」に設定してみてください。

XPC-3を使用した際、THROUGH OUT端子に接続されたディスプレイに表示された映像の鮮明度が低下する。

●残念ながら、これは、本製品の仕様であり、改善することはできません。
特に、解像度の高い画面モードや、リフレッシュレートの高い画面では、画質の劣化が顕著に現れます。

パソコン画面(ディスプレイ)と、テレビ画面では画面の比率が異なる。

●パソコン画面(ディスプレイ)と家庭用テレビでは、画面比率が異なることがあります。これは、本製品の仕様です。
XPC-3は、画面比率を調整する機能を備えておりませんので、この問題は改善できません。

画面を拡大表示(ズーム機能を使用)すると、画面の比率が縦長になる。

●これは、XPC-3の持つ特性です。改善はできません。
特に、この症状は800×600ドットや1024×768ドットなど、パソコンの解像度が高くなると顕著に現れます。

パソコン画面がテレビ画面の中央に小さく表示される。

●1024×768ドットの液晶を持つノートパソコンでは、800×600ドットや640×480ドットの画面モードを使用すると、液晶画面と同じように、テレビ画面の中央にパソコン画面が小さく表示されることがあります。これは、パソコン側の仕様です。

ポーズ機能を使用すると画面がちらつく

●XPC−3の静止機能(ポーズ機能)を使用すると、動画やゲーム画面などの動きのある画面が著しくちらつくことがあります。これは本製品の仕様であり、改善する事はできません。

これらのチェックでも原因が見つからなかった場合は、お手数ですが同梱の保証書に必要事項をご記入のうえ、商品と一緒に「電波新聞社・販売部 ユーザー・サポート係」までお送りください。

保証規定にそって無料で修理いたします。なお、保証期間を過ぎてからの修理や、保証期間内であっても故障の原因が、お客様の不注意によるものであった場合は、修理費の請求をさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

ユーザー・サポートからのお願い

修理依頼などで、製品をお送りになる際は、本体とすべての付属品を同梱してお送りください。(「本体」「ACアダプター」「保証書」は必ずお送りください。)

特にACアダプターが同梱されていないと、ACアダプター側が故障していた時に、症状を確認できません。

また、お送りいただく際は、お手数でも保証書に「症状」と「接続している機器(ご使用のパソコンのメーカーと機種など)」を必ずご記入ください。「症状」が記入されていないと、修理に時間がかかることがあります。あらかじめ、お電話などでご連絡をいただいた場合も、「症状」は必ずご記入ください。

製品内容・トラブル・修理に関するお問い合わせ先

マイコンソフト株式会社
〒541-0041 大阪市中央区北浜3丁目2番25号
京阪淀屋橋ビル6階　電波新聞社・大阪本社内
TEL 06-6203-2827
http://www.micomsoft.co.jp/

販売・流通に関するお問い合わせ先

株式会社 電波新聞社
〒141-8715 東京都品川区東五反田1-11-15
TEL 03-3445-8201（販売部・ダイヤルイン）